第80番 國分寺

- ●香川県高松市国分寺町国分2065 ☎087-874-0033
- ●宿坊/なし



第81番 白峯寺

- ●香川県坂出市青海町2635 ☎0877-47-0305
- ●宿坊/あり(団体のみ宿泊可能)



沿線の見どころ



五色台温泉

周囲を深い緑に囲まれた、知る 人ぞ知る秘湯。足湯に浸かりな がら、同時に森林浴気分も味 わえる情緒豊かな癒しスポット だ。足湯の後の足裏マッサージ もあるので、旅の疲れをじっくり 癒すのに最適。療養泉として評 判の温泉水は販売もされてい る。瀬戸内を望む景勝地のひと つである五色台のふもとで、季 節ごとの自然を楽しみながら過 ごしたい。

- 所香川県高松市国分寺町国分2956-12 № 087-874-4535
- 営 10:00~16:00 休 水曜

料 足湯200円

沿線の見どころ



讃岐国分寺跡資料館

讃岐国分寺跡は聖武天皇によ り全国に建立された官営僧寺 跡の一つ。現國分寺を含む東 西330m、南北240mが国指定 の特別史跡。資料館では発掘 調査での出土品や国分寺金堂 模型を展示。館の西側は史跡 公園として整備され、一部復元 した僧房跡や10分の1サイズ の伽藍配置模型を設置し、創 建当時を垣間見られる。

- 所香川県高松市国分寺町国分2177-1
- ☎ 087•874•8840
- **9:00~16:30**
- 休 月曜(祝日の場合は翌日) 要史跡整備地は見学自由、
- 資料館は大人100円



境内の見どころ



梵鐘

創建から近い時期に鋳造され た銅鐘は四国最古級といわ れ、国の重要文化財。昔、百々 渕にいた大蛇がかぶっていた ものを、弓の名人が退治し寺に 寄進したという伝説を持つ。ま た、生駒一正が高松城に持ち 帰ったが、鐘は鳴らず、悪病が 流行。毎夜、鐘が夢に「いぬ (帰る)、いぬ | と現れ、慌てて 返したという話もある。





日本遺産「四国遍路 | ~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全 長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が 1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道 や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風 景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の 聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温 かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡 を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



千年の歴史を伝える讃岐国分寺

歷史•全体像



天平13年(741)、聖武天皇の勅願により 全国に建立された国分寺の一つ。行基が十一 面千手観世音菩薩像を安置して開基した。そ の後、弘法大師が本尊や伽藍を補修し、霊場 に定めた。当時は東西220m、南北240mの 広大な寺域をもち、金堂や鐘楼、七重塔、僧房 などが建ち並ぶ大寺院であった。戦国時代に は兵火にかかり、本堂と鐘楼を残して焼失。後 に讃岐国守の生駒家や高松藩主松平家に よって庇護された。境内には、国の重要文化財 に指定された入母屋造りの本堂や国の特別 史跡指定の理由となった旧金堂の礎石があ り、往時の降盛を今に伝える。北東2kmの場所 には国分尼寺跡(現法華寺)がある。

御詠歌/国を分け野川をしのぎ 寺々にまいれる人を助けましませ

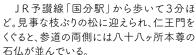
本尊/十一面千手観世音菩薩

宗派/真言宗御室派

開基/行基菩薩

真言/おん ばざら たらま きりく

境内



正面に佇むのは鎌倉中期の建築で、国指 定の重要文化財である本堂。欅の一木造り の本尊は、60年に一度開帳される。本堂に 向かって右手には多宝塔形式の大師堂が 見える。大師堂は中門をくぐり、塀の向こうの 拝殿(納経所)からお参りする。

境内には地蔵堂や閻魔堂、縁結社など 様々なお堂や社が点在。松盆栽で知られる 十地柄からか、高さ20mを超すクロマツな どの立派な松が目を楽しませてくれる。









